

内郷高坂 防災まちづくり活動ニュース

平成27年9月発行 いわき市 危機管理課

第1回防災まちづくりワークショップを実施しました

平成27年9月3日（木）午後2時から住吉神社社務所にて、高坂2区・3区・4区のふくろう見守り隊の方々を中心とするメンバーで「第1回内郷高坂地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の3地区で地域の助け合いによる防災力向上に向けて実施します。地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成27・28年度にわたり全10回行います。

第1回目は12名(地区住民9名、内郷消防署・内郷包括支援センター・6区のパートナー参画各1名)が参加し、災害に関する「情報提供」と、これまでの災害や取組についての「意見交換(ワークショップ)」を行いました。(詳しい内容は裏面参照)



「情報提供」では、土砂災害に関する様々な情報について、事務局より説明を行いました。

ワークショップでは、2テーブルに分かれて、東日本大震災などの経験や、防災上での不安や備えについて、お一人お一人の体験や意見を出し合い、最後に、テーブルごとの話し合いの内容を発表しました。

次回は、地図を用いて、より具体的に課題を話し合っていく予定です。2回目からでも参加できますので、地区の防災に関心のある方は是非参加してみませんか。(お問い合わせ先は下欄をご覧ください。)



◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))

★ 第1回ワークショップで話し合った内容 ★

■土砂災害と危険性・防災気象情報等の情報提供

- 死者74名の人的被害が出た広島市の災害にみるように、全国で犠牲者や家屋の損害をもたらす土砂災害が発生しています。
- 本地区（高坂地区）でも土砂災害警戒区域が指定されています。
- 大雨などの際は、気象庁による大雨警報・土砂災害警戒情報、いわき市による避難情報などにに基づきながら地域での助け合いによる避難が大切となります。

■意見交換(ワークショップ)

○災害の経験など(東日本大震災・大雨等)

- ・断水や燃料不足、情報の不足、崖崩れなどに困ったとの体験が話し合わせました。また、被災住宅の現況調査やロウソクの支給など地域での助け合いも報告されました。
- ・大雨では、冠水や崖崩れなども起こったとお話が出ました。

○防災について感じていること、備えなど

- ・高齢者の方の避難や、地震時の家屋の安全性など、様々な災害時の不安点が挙げられました。
- ・世帯での備蓄や家族での連絡などの取り組みが多く出されました。地域での取り組みについては、これからの確認が必要です。



次回以降の防災まちづくりワークショップの予定

今年度は、下記の予定で開催します。第2回からでも参加できるプログラムとなっていますので、是非ご参加ください。【お申し込みはオモテ面下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第2回	10月1日(木) 午後2時～4時	○地図による地区の防災上の課題の確認
第3回	11月5日(木) 午前10時～12時	○まち歩きによる防災上の課題の現地確認
第4回	12月3日(木) 午後2時～4時	○地区の防災上の課題の整理
第5回	2月3日(木) 午後2時～4時	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討